

令和2年第10回定例会一般質問通告書

通告1番 倉橋 誠司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 復興復旧状況について

質問相手 町長

質問の要旨 東日本大震災からあと3か月で10年となる。
復興事業のねじれがあるとの指摘が残っている。
経緯と現状について伺う。

- 1 災害復旧工事の仕組み（予算の取り方、都市計画との関係）は。
- 2 公共土木施設もとの姿以上の機能復旧ができているか。
- 3 復興した土地に対しての固定資産税の評価基準は。
- 4 高野会館周辺の交通インフラ復旧整備に関する請願書で一部採択された道路整備の進捗状況は。

2件目

質問事項 デジタル化について

質問相手 町長

質問の要旨 菅内閣が9月に発足し、デジタル庁創設に向けた動きもスタートした。
行政のデジタル化を推進し、効率的な政府を目指すとしている。
村井知事も「みやぎデジタルファースト宣言」を表明した。
国や県が進めるデジタル化への町の対応を伺う。

- 1 行政手続きの効率化は。
- 2 マイナンバーカードの普及は。
- 3 認印の廃止は。
- 4 オンライン診療の可能性は。

通告2番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

質問事項 小森地内の仮設橋撤去について

質問相手 町長

質問の要旨 11月18日に撤去に係る説明があったと聞くが、突然のことで住民が驚いている。

当該仮設橋は小森団地への進入道路でもあり、住民の生活道路としての機能が奪われることで不便をきたすだけではなく、災害時や火災などの有事の際に地区の孤立化を招く恐れがある。

住民のための行政でなくてはならないと思うが、国が行う事業とはいえ地区住民が犠牲になることが想定される状況で、仮設橋の撤去を町として容認するのか考えを伺う。

通告 3 番 千葉 伸孝 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 子どもたちの大震災からの心のケアとコロナ感染から守る対策は
質問相手 教育長

質問の要旨

- 1 東日本大震災を乗り越えた南三陸町の子どもたちが、更なるコロナ感染症により、3月2日から休校となり、こうした諸々の状況が「いじめ」や「不登校」の原因にあるが対策は。
- 2 宮城県の2018年度の不登校が全国1位となったが、その後の状況把握と、その理由の分析と対策をどのように教育長は考えているのか。
- 3 スマホやゲームなどにのめり込み、引きこもりが不登校につながっていないか。
- 4 コロナ感染症対策として、タブレット活用に移行している。授業は今後どのように進めるのか。

2 件目

質問事項 コロナ感染拡大による建築業者への支援として、住宅リホーム・修復補助を
質問相手 町長

質問の要旨

- 1 震災津波被害の無かった住宅の修復・リホーム経費の助成金を。弱小の工務店や建築職人にコロナ感染拡大による仕事の減少は深刻で、労働の場の確保は多くの工務店の職人の確保となる。所得支援への対策を。
- 2 震災から10年が経過しようとしている。またの大震災への対策として、大震災に備えた耐震診断の更なる拡充を。
- 3 高齢者の生活環境の転倒防止へ補助対策拡充を。介護認定のランクによる補助があるが緩和を。

3 件目

質問事項 10割増し「てんこ盛り商品券」の混乱の検証と町長の責任は

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 企画課長は「自分の甘さ」が今回の混乱の理由と言うが、町長の責任と身の処し方は。
- 2 町外の方で町内の宿泊施設に滞在してまで、商品券購入希望者で買う事が出来なかった方々への対応は。
- 3 商品券は限られた期間での利用であり、前回一般販売できなかった分が12月初めになる。町民からの強い要望もあり、期間延長に答えられないか。
- 4 一般販売のルールはどんな形で決められたのか、その経緯は。最終的責任は町長であると思うが。

通告 4 番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

質問事項 震災遺構と教訓の伝承について
質問相手 町長・教育長
質問の要旨 東日本大震災からまもなく10年。
その節目の日を迎える前に、当時の様子を今に伝える震災遺構を取り巻く状況や、震災を知らない世代へ教訓を伝えていくための取り組み、そしてそのために使われる伝承施設と祈念公園の今後について伺う。
1 志津川市街地に残る建物などの遺構に対しての町の考えは。
2 子どもたちには教育の中で震災についてどのように伝承しているのか。
3 整備費用が大きく増額された道の駅だが、震災伝承という役割を十分に果たし、費用対効果を得られるか。
4 祈念公園の維持管理の体制は整っているか。
5 公園内の旧防災対策庁舎前の献花台には多くの方が訪れている一方、あの建物は見たくないという人もいる。
その人たちにこれまでどのようなケアがおこなわれてきたのか。

通告5番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 高校の魅力化について

質問相手 町長・教育長

質問の要旨 1 中高一貫の機能・効果は充分か。
2 高校魅力化における中高一貫の見直し解消の考えは。
3 スクールバス等町民バスの共用で、通学利便性の向上を。
4 BRTを柳津・石巻直結ルートで通学圏の拡大を。

2件目

質問事項 移住・定住政策について

質問相手 町長

質問の要旨 1 これまでの移住・定住の実績は。
2 あき家対策の取り組み状況は。
3 町内における限界集落的地区におけるピンポイントでの定住をベーシックインカムを導入で実現を。

3件目

質問事項 復興工事の残土について

質問相手 町長

質問の要旨 1 工事完了後における推定残土の量は。
2 戸倉折立地区にパークゴルフ場等で残土の有効活用を。

通告6番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 バイオマス産業都市構想について

質問相手 町長

質問の要旨 1 計画の達成状況について伺う。
2 ペレット事業の出口対策について、今後の展望について伺う。
3 エコタウンとしての取り組みを体験し、学べる環境づくりは十分か。

2 件目

質問事項 町水道施設の老朽化対策について

質問相手 町長

質問の要旨 被災しなかった内陸部で町水道送水管による事故が多発しているが、現状をどう捉え、どう対応していくのか伺う。

通告7番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 女川原発再稼働と海洋環境問題について

質問相手 町長

質問の要旨 1 11月9日市町村長会議の内容とUPZ圏域の首長としての考えを伺う。
2 知事の判断は【県民の声】を吸い上げていると思われるか。また、県民投票の必要性を町長はどのように考えているのか伺う。
3 福島原発被害（風評も含む）をどのように受け止めているのか伺う。
4 登米市から8,000ベクレル以上の稲わらが10年保管経過されているが、袋の劣化が危惧されるが、どちらで対応するのか。また、汚染水が両町に流れる危険性があるので対策を急ぐべき。
5 海水温の上昇により水産物不漁で漁民が苦慮しているが、再稼働することで、現在の水温より7度高い冷却水が放出されると思われるが、海水汚染を危惧すべきではないか伺う。
6 今後当町は、この問題にどのように向き合っていくのか、所見を伺う。

2 件目

質問事項 公営住宅使用料等の徴収事務に係る住宅供給公社への委託について

質問相手 町長

質問の要旨 1 住宅管理については、各自治体ごとにすべきでは。
2 住宅使用料の未納が多いが、その要因と対策を伺う。
3 現年度の会計分については現年度会計で処理すべきでは。
4 住宅供給公社に委託しているメリットとデメリットを伺う。
5 災害公営住宅に係る財政シミュレーションについて伺う。
6 住宅使用料徴収に関する計画について伺う。